



あと2週間

昨日の学級タイムの時に●●くんと●●くんが言っていた通り、今日で合唱祭まで2週間ということになった。3年生だけでなく、1・2年生の練習にも熱が入ってきて、朝・昼・放課後と、つねに校舎に音楽があふれている状態になったが、それはいかにも「高校」らしい気がして、私はこの雰囲気なかなか好きである。

その学級タイムの時、35Rの合唱練習の現状を踏まえて、●●さんがみんなに発破をかけたが、担任としては、残りの諸君にはその気持ちを是非受け止めてほしいと思う。

●●さんの言っていたことは正論で、正論だからこそ、ちょっと斜に構えてしまいがちな人は、正面から受け止めたくない気持ちになってしまうことがあるかも知れない。しかし、人の前に出て自分の考えや思いをはっきり伝えるというのは、ご存じの通り、なかなか勇気のいることなのだ。だからこそ、背景にある、そうしなければいけない気持ちを思いやって、素直な気持ちで受け止めよう。

さらに、気持ちを表明するのは、きっとみんながそれを受け止めてくれるだろうという信頼があればこそだろう。やっても仕方のないことなら、わざわざ大変な思いをしてみんなの前に立つことはない。受け止めてくれる人がきっといるに違いない、そして、それが練習に良い影響をもたらすに違いないという信頼があればこそその行動なのである。とすれば、その信頼に応えることが、意見を受け止めた側の責任であろう。そのことをしっかり認識して、これからの練習に臨んでほしい。

しかし、担任としては、ああいう意見をしっかり表明してくれる人が登場したことで、

がぜん今年の合唱祭も楽しみになったのである。●●くんも言っていたが、合唱は「みんなで歌う」ことに意味があり、その「みんなで歌う」ということの中には、練習の過程でクラスとして成長するという意義も当然含まれているだろう。だから、例えば今回のことのようなことがあると、それが35Rの成長にどう結びついてゆくのかという期待も高まって、歌そのものの結果以上に（歌の結果もちろん楽しみだが…笑）、28日が待ち遠しくなるのである。

*

それはさておき、前に担任をやっていた時は、部活を引退した3年次の合唱練習にはほとんどの人が出ていたような気がする。そのことを考えると、最近はやはり塾や予備校に行く人が増えているのだろう。しかし、こうなると、今まで以上に全員でまとまった練習をする機会は少ないのかも知れない。

とすれば、昨日の「PATH」にも書いて置いたように、小さな量を積み上げることが重要になる。みんなで集まれるわずかな時間（朝とか昼休みとか）を大切に、集中的・効果的に練習するよう心掛けよう。その気持ちが共有できるようになれば、係の人が大きな声で注意を喚起する機会も減るはずだし、それが良い雰囲気をつくることにも繋がって、さらに効果的な練習ができるようになるに違いない。

何にしろ、あとたった2週間である。この2週間に自分がすべきことの軽重を考えて、本番の日には、全員で思いっきり喜びを分かち合えるようにしたいものである。